

オーダーメイド・プロジェクト ベトナムにおける就学前教育施設建設プロジェクト概要

本プロジェクトは、ベトナム中部、クアンビン省での実施を予定しています。



■ グアテマラの基本データ

指標	ベトナムのデータ	日本のデータ
人口	9,457 万人	1 億 2,775 万人
5 歳未満児死亡率 (1,000 人当たり)	22 人	3 人
出生時の平均余命 (年)	76	84
成人識字率 (%)	94	-
小学校の純就学率 (%)	98	100
就学前教育総就学率 (%)	女子 : 82 男子 : 84	- -

(「ユニセフ世界子供白書 2017」より)

■ プロジェクトの背景

ベトナム経済は近年著しく成長していますが、その陰で国民の格差が拡大しています。特に少数民族が多く住む地域は、他の地域と比べて貧困率が高い状況にあります。

● 実施地域／クアンビン省クアンニン郡チュオンソンコミュニティについて

クアンビン省は中部に位置し、山岳地帯と低地、沿岸地域があり、人口 97 万人を擁す貧しい地域です。クアンニン郡はクアンビン省のなかで最も貧しい郡のひとつ、クアンニン郡では人口 9 万 5 千人のうちの 3%が少数民族で、チュオンソン・コミュニティを含めた 2 コミュニティに集中し

ています。これらの地域では19の村に約4800人（1140世帯）が暮らしており、その61%が少数民族に属し、住民の多くは、農作物（トウモロコシ、キャッサバ、落花生等）の栽培、林業、畜産などから収入を得ています。

● 対象校のあるチョオンソン村の状況について

ラオスとの国境に近くに位置するチュオンソン村は住民68世帯335人の全員が少数民族で、コミュニティの中心から遠く離れた山間に人々は散在して暮らしています。貧困率は90%と高く、村には就学前教育施設が1つありますが、教室の数が足りないため対象年齢対象の子どもたちの一部は通うことが出来ません。教室は老朽化が進み、雨季には雨が吹き込み床上浸水を起こしており、子どもたちにとって危険な状況です。また、机・いす等の教室備品や教材も不足しており、トイレや給水設備もないため、子どもたちも教師も野外排泄をし、手も洗わず不衛生な状況を強いられています。清潔な飲料水もなく、子どもたちは下痢症など水を原因とする病気の危険にもさらされています。台所がないため子どもたちに給食提供ができず、そのため子どもたちの出席率は不安定です。

チョオンソン村の子どもたちが安全で衛生的な環境で快適に学べるよう、学習環境の整備が必要な状況です。



教室の外壁はボロボロな状態。基礎部分も劣悪な状態で雨季には床上浸水も多発します。



教室の壁には亀裂や穴があり、雨風が吹き込んでくる。教室の屋根・天井も損壊が激しいです。

■ プロジェクト目標

ベトナム中部クアンビン省クアンニン郡チョオンソン・コミューンのチョオンソン村に就学前教育施設を建設することにより、子どもたちの学習環境の改善を目指します。

■ 活動内容

- ・ 高床式の2教室の建設（現在とは別の場所に建設します）
- ・ 男女別トイレ、給水設備、台所、倉庫の建設
- ・ 運動場、門、フェンスの設置
- ・ 教室備品、教材、台所用品の支給

■ 対象

チョオンソン村の就学前教育対象の子ども 50人

■ プロジェクト実施期間

約1年間

■ 効果

高床式の2教室、門、フェンス、運動場、倉庫、衛生的なトイレ及び給水設備、台所、教室備品、教材、台所用品が提供されることにより対象地域の就学前教育施設に通う子どもたちが安全な学習環境のもとで、より質の高い就学前教育を受けられるようになります。特にベトナム少数民族の子どもたちにとって、国の公用語であるベトナム語に就学前に触れておくことはこの先の教育を続ける上でとても重要です。

■SDGs（持続可能な開発目標）への貢献

SDGs とは： Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）

2015年9月に国連の全加盟国193か国によって世界共通の目標として承認されました。2030年までに「誰も置き去りにせず、世界から貧困を根絶する」こと、そして「地球を持続可能なものにする」ことを目指しています。17の目標と169のターゲットから構成され、教育、保健・衛生、ジェンダー平等をはじめ、気候変動への対応、生態系の保全、平和構築などを幅広くカバーし、包括的な内容となっています。

プラン・インターナショナルはSDGsに賛同し、その達成に貢献する活動をしています。

本プロジェクトが貢献するのは下記の目標です。

目標4「すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」

目標6「すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する」

■ 実施方法

活動は子どもたちを含めた住民参加型で、現地行政とも連携して実施します。

- ・住民自身のプロジェクトである、という意識が高まり、プロジェクトの成果が持続します。
- ・地方行政と連携することで、プロジェクトを円滑に進め、持続性を高めることができます。



学校建設プロジェクトで新しい教室のデザインについて話し合う児童、教師、保護者たち(ベトナム)



保健所建設プロジェクトで熟練技術の要らない工程で労働力を提供するコミュニティの人々(ガーナ)

■ プロジェクト予算

活動内容	予算 (日本円)
教室、トイレ、給水設備、倉庫の建設	4,740,000
台所の建設	1,420,000
門、フェンス、運動場の建設	730,000
教室備品、教材および台所用品の支給	480,000
現地における管理費	1,030,000
日本における管理費	1,600,000
合計	10,000,000

■ プロジェクト成果のご報告

プロジェクト開始後6か月および完了時に写真を添えた報告書を送付いたします。

■ プロジェクトへのご支援

プロジェクトへのご支援は100万円より承ります。

- ご希望の方は就学前教育施設に付けるプレートにお名前を入れることができます。